

# きもの豆知識

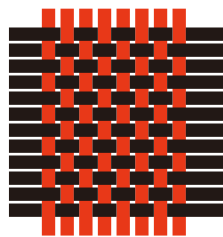
## 織りの組織を知る

組織とは経系（たていと）と緯系（よこいと）の組み合わせで、基本となる三元組織など織りの組織についてみていきましょう。

三元組織とは・・・平織・綾織・朱子織のこと

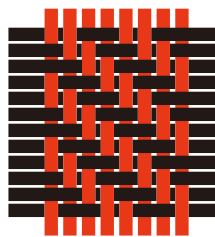
### 平織

もっとも単純な織りで、経系と緯系を一本ずつ交互に浮き沈みさせる。製織が簡単で丈夫。織の着物はほとんどがこの平織りで作られている。糸の撚り方で光沢や風合いが変化。



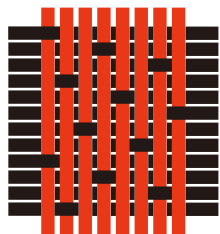
### 綾織

経系と緯系を2本以上組み合わせ、斜めにウネを出したものの。斜文織とも呼ばれ、平織よりも強度は低い、地合が密で柔らかく、伸縮性にも優れるためしわになりにくい。



### 朱子織

経系と緯系、それぞれ5本以上で構成される。通常は経系を長く浮かせることが多い。摩擦には弱い、光沢が強い。訪問着などに仕立てられる綸子は朱子織で織られている。



### もじり織

夏の着物や帯になる絹組織。紗、紹、羅の三種類がある。経系同士が平行にならずお互いに絡み合いその間を緯系を入れることで美しい透け感を表現。

### つづれ織

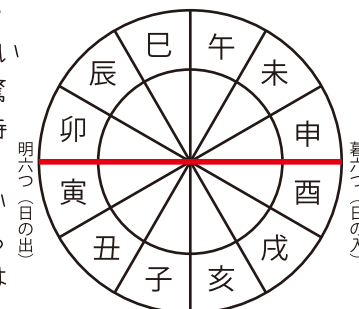
平織の一種で緯系だけで文様を表現する織。緯系に数色の色系を使い、模様部分を織る緯系と地組織になる緯系をそれぞれつづらのように織り返して織られる。

# あそびの玉手箱

今のように正確に時を刻む時計がなかった江戸時代、人々はどのように時間を知っていたのか不思議に思ったことはありませんか？ 実をいうと、時計の伝来は1543年に種子島に鉄砲が伝来した時といわれています。そんな昔から、機械仕掛けの時計があったことは驚きですが、日本には日本の時間の観念があったようで、伝来した時計をそのまま使わず、日本の暦の概念で時計を作り直しました。

日本の暦は、時間の進み方が一定ではなく不定時法と呼ばれていました。1日のうち夜明けから暮れまで（昼）を6等分、暮れから夜明けまで（夜）を6等分します。昼と夜の長さは文字盤の上では同じですが、実際には違ってきます。

夏至を冬至では昼と夜の時間の長さが違うので、時計も昼と夜の進むスピードを変えるという複雑な時間の概念に合わせた構造の時計になっています。夏至と冬至では同じ明け六つから暮れ六つまでで5時間も違ったそうです。そういえば、江戸時代の歌舞伎の上演は明け六つ（午前6時ぐらい）から上演されていたそうですから、演者はいったい何時に起きて用意してたんでしょうね。



## ～レンタルギャラリー～

趣きある和の空間に作品を展示してみませんか？

趣のある和の空間で、作品を飾ってみませんか？ 個人の作品から、趣味の教室（お花、写真、書道、絵画、手芸など）の作品展など、文化・芸術を育む場を提供したいという思いから、竹次郎カフェを開催の日程（毎月5日間）に限り、レンタルギャラリーとしてお使い頂きます。

レンタル期間：竹次郎カフェ開催日（毎月5日間）

料 金：1500円（5日間）

※カフェ開催日は事前にお問合せ下さい。

☎ 0563-35-0039 大橋まで

## 竹次郎～ TAKEJIRO CAFE ～ コラム



世の中色々と自粛ムードですが、悩んだ結果、3月の竹次郎カフェも開催予定です。今月は新製品の『さつまいも餅ぜんざい』を投入予定です。

いつもの四角い餅ではなく、丸いお餅にさつまいもの餡が入った絶品のお餅です。竹次郎カフェの新たな名物になってくれることを祈っています。是非食べに来て下さい。

# 歌舞伎のススメ

## ～京都南座 市川海老蔵特別公演～

先日、市川海老蔵特別公演を京都南座で見ました。今年は暖冬のため、雪の心配のない年かと思いきや、その日に限って雪が降り、車で行くのを断念し、急遽電車で行くことになりました。しかも、通常は11時からの公演が多いため、間に合わないかもしれないと、ひやひやしながら行ったにもかかわらず、着いてみて開演時間を確認すると12時からの公演ということがわかり、逆に時間を持て余すという、どうでもいい余談でしたが、何とか無事見ることができました。

さて、肝心の海老蔵さんの公演ですが、4年2か月ぶりの南座公演なのだそう。そういわれてみると、東京の歌舞伎座等の印象が強く関西で公演するイメージもなかったですが、そんなに来られてなかったのですね。今回の演目の『勸進帳』は何度も何度も色々な役者さんの弁慶を見ましたが、やはり海老蔵さんが登場した時の観客のわき方を見ると、さすがだなと思ったりもします。間の取り方なども独特で、勸進帳にもかかわらず、笑いが起こるあたりは、海老蔵ワールド全開でした。5月6月7月と歌舞伎座で『市川團十郎白猿』の襲名披露公演が行われます。少しいつもより割高ですが、おめでたい公演ですので、是非見に行ってみて下さい。



# 着付教室 12回

1回1000円

かわちやの  
ワンポイント着付教室  
**1,000円**

半巾帯の結び方など  
ピンポイントでお教えます。

かわちやの着付教室は、それぞれの目的やスケジュールに合わせたカリキュラムを組んでいきます。

お気軽にご相談ください。  
お問い合わせは 大橋幸子まで  
TEL 0563-35-0039

# イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE  
3月19日（木）～23日（月）

春の和小物展を開催します。